

## 事例9 「主張や特徴を比較しながら複数の文章を批判的に読んで評価し、自分の考えをもつこと」をねらった事例

○学年 第3学年

○主な領域 [思考力、判断力、表現力等] C読むこと

○事例のポイント

- ①複数の文章を比較して読むことで、それぞれの主張を捉えることや、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができるようにする。
- ②文章に表れているものの見方や考え方について考え、自分の考えをもてるようにする。
- ③ICT端末を活用し、読み取ったことを共有して、話し合いや自分の考えをもつことができるようにする。

### ICTを活用した主な学習場面

- ・文章の要旨をまとめる場面
- ・グループで課題に取り組む場面
- ・グループや全体で考えを交流する場面

### ICT活用の利点

- ①文章の加除修正が容易であり、要旨をまとめる負担を減らせる。
- ②グループで助け合ったり修正したりすることが容易になる。
- ③他の生徒やグループが書いた文章をいくつも並べることができるなど比較がしやすい。

## 1 単元名・教材名 読み比べて評価をしよう

「複数の意見を読んで考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う」

## 2 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒はこれまでに、自分の経験と結び付け、考えを深める学習や、観点を決めて対象を評価する学習、意見と根拠の関係を捉える学習、情報の整理の学習などを行ってきた。その中で、自分の言葉を駆使して文章や談話にまとめる苦労や、互いの文章を読み合ったり聞き合ったりする面白さも味わってきた。一方で、学年が上がるに従って話題や題材の抽象度が上がったりまとめる分量が増えたりすることで、学習に困難を抱える生徒もいる。

そこで本単元では、既習事項を活用しながら、正解のない課題について専門の異なる三者からの提言を読み比べて、評価することを目指していく。その過程で、問いを立て、多角的な視点で吟味・検討する方法を身に付けられるようにしたい。さらには、文章を批判的に読むということを生徒が体感できるようにしていく。

指導に当たっては、グループで文章を比較して評価したり討論したりすることを通して、自分の考えを深化させる場を設定する。対話とは単に自分の考えの形成のために有益な情報を得る場ではなく、対話の中で言語化するうちに思考が明確になることや、どの生徒にも他者が耳を傾けるべき言葉があり、それを聞き合うことが大切であることを指導する。それには、環境問題という小学校から様々な教科・領域で学習してきたテーマについて三者の提言がある状態から学習が始まるのが、生徒にとって比較や話し合いの土俵に乗りやすくなるものと考えた。これらを踏まえて、全ての生徒に粘り強く評価をまとめ、自分の考えをもつことができるよう指導していく。

## 3 単元の目標

- (1) 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 (知識及び技能) (3)オ
- (2) 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 (思考力、判断力、表現力等) C(1)ウ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

#### 4 本単元における言語活動

論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動。(関連：言語活動例ア)

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)	①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(C(1)ウ)	①粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして自分の考えをまとめようとしている。

#### 6 指導と評価の計画 (全3時間扱い)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	
1	<p>○学習のねらいや進め方をつかむ。</p> <p>○全文を読み、グループ内で分担して要旨をまとめる。</p> <p>○現時点での自分の考えをもつ。</p>	<p>○学習の見通し方</p> <p>○要旨のまとめ方</p> <p>○自分の考えのもち方</p> <p>○読書の意義と効用</p>	<p><b>ICT活用の利点①</b> 全文から不要な部分を削除すると、要旨として残すべき箇所を捉えやすく、負担も少なくなる。既習事項の活動時間の短縮にもなる。</p> <p>○学習用語としての要旨の意味を確認する。 ○一人一提言の要旨をまとめるよう助言する。 ○文書作成ソフト (Microsoft Word、Google ドキュメントなど) を使って、本文から要旨に不要な部分 (話題提示、具体的な事例や説明など) を削除していくよう助言する。</p> <p><b>【知識・技能①】</b> ノート ・ここでは、提言を読むことを通して新たに自分の考えがもてることに気付いているか確認する。</p>	
2	○比較の観点を決める。	○文章を比較する観点	<p><b>ICT活用の利点②</b> 同時編集で、他を参照したり互いの進捗を把握したりしながら活動できる。説明し合う中で生じた修正も、即時に文字で共有することができる。</p>	
	○グループ内で分担して文章の特徴をまとめる。	○情報の整理		<p><b>事例のポイント③</b> 各自が入力した文章を見ながら説明し合ったり、その場で修正しながら話し合ったりする。</p>
	○まとめた特徴を説明し合う。	○特徴のまとめ方	○理解が曖昧な点を明確にしたり、不明点や誤りがあれば一緒に考えたりするよう助言する。	
	<p><b>ICT活用の利点③</b> 各グループのまとめの提示が容易かつ鮮明になる。ポインタで指し示すこともできる。複数のまとめを並べて比較もできる。</p>		○まとめた特徴を全体で確認する。	○批判的な読み ○文章に表れて

編 P36 指導計画作成の留意事項(1)

	○提言の要旨、論理の展開、表現の仕方などを、自分の経験や知識と照合して吟味し、評価する。	いるものの見方や考え方	【思考・判断・表現①】 ワークシート、観察 ・ここでは、決めた観点に沿って文章を比較したり自分の知識や経験と照合して問いを立てたりしながら、批判的に読んで評価しているかを確認する。
3	○3つの提言をどう評価するか、グループで討論する。  ○討論を踏まえ、自分の考えをまとめる。	○文章の構成、論理の展開、表現の効果の評価  ○自分の考えが伝わる文章の工夫	○討論であり、合意形成ではないことを確認する。 ○特に互いの評価が異なる部分について、理解するための説明や質問をするよう助言する。 ○グループの他の生徒と異なる考えをもってよいことを確認する。
	○学習の振り返りをする。	○振り返りの仕方	【主体的に学習に取り組む態度①】 ノート ・ここでは、これまでの評価や討論を踏まえ、既習事項を生かしながら自分の考えをまとめているか確認する。

編 P35 指導計画作成の留意事項(2)

事例のポイント②  
提言の評価について討論する中で、考えたことや出てきた意見を踏まえて、自分の考えをもつようにする。

7 本時の学習指導 (本時 2 / 3 時)

(1) 目標

- 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。  
〈思考、判断、表現等〉 C(1)ウ

(2) 評価規準

- 読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。  
【思考・判断・表現】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。	○学習の見通し	○前回まとめた要旨と筆者の立場を、ノートやICT端末を見返して確認するよう促す。	2
2 比較の観点を決める。	○文章を比較する観点 ・ 提言の要旨 ・ 文章の構成と論理の展開 ・ 取り上げている事例 ・ 表現の仕方 ・ 疑問点 (文章に書かれていないこと) ・ その他	○説明的文章と情報の扱い方に関する既習事項を確認する。	3

立てた観点に沿って三つの文章を比較し、評価しよう。

### ICT活用の利点②

同時編集で、他を参照したり互いの進捗を把握したりしながら活動できる。説明し合う中で生じた修正も、即時に共有できる。

3 文章の特徴をまとめる。

- (1) グループで手分けして文章の特徴をまとめる。
- (2) まとめた特徴を説明し、必要に応じて修正する。
- (3) 全体で確認する。

〈まとめ方の例〉

#### 筆者の論理の展開

- ・筆者の研究成果や実際に観測したデータを例示したうえで、科学的根拠に基づいて地球温暖化の現状や原因を理解することが不可欠であると訴えている。

#### 事例のポイント③

各自が入力した文字を見ながら説明し合ったり、その場で修正しながら話し合ったりする。

### ICT活用の利点③

各グループがまとめたものの提示が容易かつ鮮明になる。ポインタで指し示すこともできる。複数を並べて比較することもできる。

4 提言の要旨、論理の展開、取り上げている事例、表現の仕方などについて、提言どうしを比べたり自分の経験や知識と照合したりして吟味し、評価する。

**事例のポイント①**  
提言を比較したり自分の知識や経験と照合したりして吟味し、提言に対する自分の評価を考えるようにする。

〈吟味・評価に使う問いかけの例〉

#### 提言の内容

- ・筆者の立場はどうか
- ・筆者の提言に納得できるか
- ・実現可能な内容か

#### 論理の展開

- ・無理や飛躍はないか
- ・因果関係はあるか、別の要因はあるか
- ・具体例は適切か

#### 表現の仕方

- ・事実と意見を書き分けているか。
- ・わかりやすい表現はどれか
- ・説得力を感じるのはなぜか

編 P35 指導計画作成の留意事項(2)

〈予想される生徒の反応〉

この提言の論理の展開は、自分の研究結果を、図を用いて説明しながら、「科学的根拠に基づき、現状や原因を正しく理解すること」の重要性を訴えるというもので、ここに強い説得力がある。(略)

- 表を用いて提言者ごとに各観点の内容を書いて整理するよう促す。
- ICT端末上のワークシートに記入するようにすることで、他の生徒のまとめ方を参照できるようにする。
- 口頭で説明する中で、生徒が思考を明確にしたり書き記さなかったことを拾い上げたりできるよう支援する。
- グループで共有するものとして、理解が曖昧な点を明確にしたり不明点や誤りがあれば一緒に考えたりして、必要に応じて修正するよう促す。

- 比較して新たに気づいたことなどに着目するよう助言する。
- 次時での討論に向けて、それぞれの文章について意見をいくつか挙げるよう助言する。

#### 【思考・判断・表現①】

ワークシート

- ・ここでは、決めた観点に沿って文章を比較したり、自分の知識や経験と照合して問いを立てたりしながら批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について考えているかを確認する。

<「努力を要する」状況(C)への手立て>

- ・「筆者に質問したいこと」など、文章に対して自分の意見を挙げやすい問いかけを示すことで考えられるようにする。

5 本時のまとめ をする。	○複数の文章を比較して読む こと	○複数の文章を比較して読むこ とでどのようなことになった のか、それをどのように文章の 評価につなげたのかを、自分の 言葉で発言するよう促し、整理 していく。	2
文章を比べて読むことで、それぞれの文章の特徴 に気付きやすくなる。比較を通して気付いた特徴 を基に、自分が納得できる提言について客観的に 考えたり、文章の優れた点や不明点を考えたりす ることで、文章を評価することができる。			
6 学習の振り返 りをする。	○振り返りの仕方 ・文章を比較することで特徴 が明確になることが実感で きたか ・自分の知識や経験と照合し て文章を評価できたか	○自分の学習内容に関する理解 を認識しながら振り返るよう 助言する。	5
〈期待される生徒の振り返り〉 三つの文章を比較したことで、文章の特徴をどの ように捉えたらよいか分かった。自分は環境問題 の解決は誰かが強力に進めないと難しいと感じて いたが、二つ目の筆者の提言は、他に比べて楽な 方に流れる人間の性質も踏まえているから、最も 共感できたのだと考えた。			